



山中小学芸会：先生も熱演

岡崎市特殊教育推進協議会 平成5年12月16日



“フクムシがいる”

竜海中学校長

小久保 良

「先生！でーきた！見て、見て！」

「ワッ！すごい。よくできたネ。ここどうしたの？」

「うん。ぼく、…考えたーんだ。」

無邪気で一片氷心の子どもたちと粉骨碎身の先生たちとの間には気運の熟した人間としての豊かな営みがある。まさしく阿吽の呼吸とも、啐啄同時とも言える心のかよった日々である。

「この子たちと一緒にいると、本当に勉強になります。」と担任の先生は語ってくれた。教習組長の気持ちがあたたかく伝わってくる。

中日新聞の「としび」の欄に「フクムシがいる」という記事が載っていて、感銘と共感を覚えたことがある。

「フクムシとは、「ちえのおくれた子」のことで、フクムシは「くらしのちえ」となっている。それは、フクムシを大切にすることで人々は自分たちの生活態度をふりかえって、少しでもこの子らのような気持ちで生きていかなくてはと思わされるからであろう。

なぜならば、この子たちの無垢な人間性は、人間の真実の尊い一面で、それに正対することで、私たちは一段とかしこくなっていくことができるものだからである。」（伊藤方文氏）……と。

今日もまた、特殊学級の窓から楽しそうな笑い声が聞こえてきた。毎日の実践の中で、フクムシである子どもたちの気持ちや行動から教育の原点と本質を知り、子どもたちの一所懸命な姿と先生たちの実践的行証の姿に、鼓舞激励され感動するのは私だけであろうか。

「健太くん。さようなら。ではまたあした元気でネ……。」

第11回 子どもと親の集い うんどう会

今回で第十一回を迎えた岡崎市
特殊学級合同「子どもと親の集い
運動会」が、九月十四日に、岡崎
市総合体育館（武道館）で開催さ
れました。

武道館での運動会は、狭い感じ
もしましたが、その分、演技が真
近で見られ、臨場感が迫り、例年
以上の盛り上がりが見られました。
堂々とした入場行進後の開会式
では、シャッチー君の登場に、子
供たちは、大喜びでした。その後
の運動会のテーマ曲「子どもと親
の集い運動会の歌」も、例年以上
の元気な声で、武道館に響きわた
りました。

今年の運動会の特色は、話題性
やアイデアに富んだ競技が多く、
見ている者も楽しめました。

日本中をわかせたサッカーの応援歌「オーレ・チャンプ」の曲に合わせた準備体操。軽快なリズムに合ったいろいろな動きがあり、とても楽しいものとなりました。

小学校親子競技「めさせ、若貴」は、親子協力して、先生方扮するお相撲さんのところまで、オーブンカーででかけ、相撲をとるものでした。お相撲さんが倒れるたびに大きな歓声があがりました。

中学校親子競技「オーレ！O（オー）リーグ」は、親子協力して、スティックを使い、障害物をよけてシュートするものでした。みごとにシュートが決まり、喜び合う親子の姿は、ほほえましいものがありました。

毎年行われる競技にも工夫がありました。かわいいうんこう娘が背おうかごに玉を入れる玉入れ。シャッチー君と握手をしたり、ドラえもんにドラヤキを食べさせるかけっこ等。

真剣に競技する子供たち。それを支えてくださる保護者の方、先生方。この三者の和が、この運動会、そのものだと思います。

梅園小 岡田幸夫

なぜ私が 相撲取りになったか

菫海中
安藤美智恵

「関取には竜中安藤先生と...」
はじめは悪い冗談だと思った。
確か二回目の運営委員会のことである。なぜ、この競技で私が相撲取りにならなくてはいけないんだ
何を考えているんだ、先生方は。
きつとふざけてるだけに遠いな
いと思ひ、話し合いを続けていく
と、気持ちは変わっていった。
「よし。りっぱな相撲取りになっ
てやろうじゃないか。」

というように...

気持ちが一八〇度変わったのには理由がある。まずは、先生方の運動会へ向ける熱意を感じたこと。各校の先生方の熱意は、本当にすごい。

「この競技に三つのパターンを考
えてきたんだけどね。」

「やっぱり、フレンチカンソンの
格好をしてもらわないと...」大の
大人がこんなにも熱くなれるもの
なのかと、感動すら覚えた。

次に真剣さ。子どもたちの安全
や興味を第一に考えて、細心の注
意を払って企画を練っていく。

「ただ走るだけじゃ、達成感を味
わわせてやることはできないよ。」
「そういうルールだと、小さい子
たちには理解できないんじゃない。」
今だから言えるが、それまでの
私にとって一般の「運動会」とい
うのは遊びであった。しかしこの
運動会を経験して、それが教育活
動の一環であったことに気づいた
のだ。

最後に、子どもたちが私を変え
た。
「準備運動の練習しようね。」
と言っただけで、両手をあけて喜
ぶ生徒。準備運動でこんなに喜ぶ
なら、他の競技は推して知るべし
である。

そんなことから、私なりに全力
投球した。他の先生方はそれ以上
だ。そんな運動会だから、子ども
たちの心に残るのだと思っている。



十月十三日(木)、市内特殊学級 児童、八十六名は五台のバスに
分乗して、名古屋港水族館へ向
かいました。

岡崎ライオンズクラブの御厚
意による招待社会見学の日です。
午前九時、天王公園での結団式
で、ライオンズのおじさんや教
育委員会の先生方

のお話を聞く子供
達は笑顔でいっぱ
いでした。

水族館の中では
頂いたお弁当と、
お菓子を大切そう
に持って歩く姿が
印象的でした。

近代技術の粋を
こらした水槽の中
を珍らしい魚が群
れをなし、大きな海ガメがゆら
ゆらと回遊する様に吸い寄せら
れるように見入る子、ユニーク
な動きをするペンギンにニコニ
コする子、どの子も自分の夢を
海の生き物に託しているよう
でした。

澄んだ秋空の下で、お母さん
もいっしょに輪を作って食べた

お弁当のおいしさは、いつまで
も子供達の心に残ることとし
り。

ライオンズクラブ招待 社会見学

—名古屋港水族館—

学校に帰って描かれた絵は、
生き生きとした運動感に溢れて
いました。子供の心を大きくゆ
さぶり感動ある体験を与えて下
さったライオンズの方々に厚く
御礼申し上げます。

御礼申し上げます。

お礼の言葉

岡崎小 父兄

毎年、このような
機会を与えて下さい
まして、岡崎ライ
オンズクラブや教育委
員会の皆様には心か
らお礼申し上げます。

今年も、また一度
も行ったことがなかつた名古屋
港水族館で、子どもと一緒に楽
しみにしておりました。子ども
は大きなカメにびっくりしたり、
ペンギンの上手な泳ぎを見て感
心したりしていました。帰りに
はお土産も頂いて楽しい一日を
過ごすことができました。本町
にありがとうございました。



水族館

羽根小四年

松田千明

なごかニラズい
まかんはいさま
した。ライオンズ
のおじさんがつれ
ていててたまし
た。

ペンギんをみました。かわいいな
のれいかなにもぐるのです。
えびがよいです。
かめのおおがぶつこのびました。
かたがとよもち、こおるいな。
わがわがアソびました。
べんぜんをみました。

いっばい、いきました。およいごいま
た。パタパタおよいごいました。
ひよこおみずりよみみました。
かわいかったです。

校長先生へ

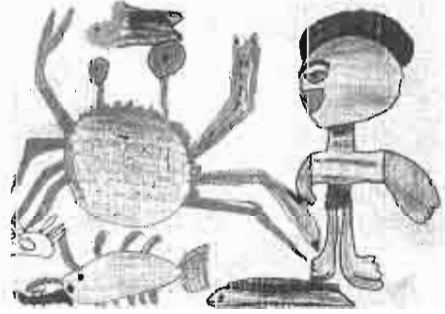
根石小三年 三宅亜多留

校子ようせい牛
じんげいばいがたの
しんごうとでまはま
しするごみくしゆんしてくる
のてうれしくなりです。
めたる

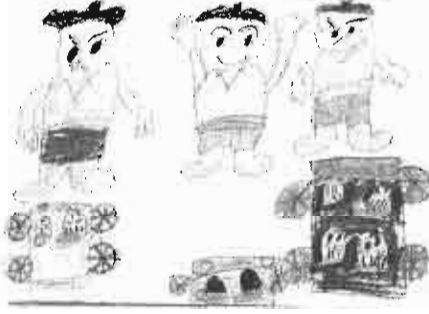


社会見学
名古屋港水族館

男川小六年 井野 武



子どもと親の集い運動会
「めざせ若貴」
矢北小五年 中山愛理



招待 映画鑑賞会

今年で五年目。筒井興業さんの
御好意により『REX恐竜物語』
ドラゴンボール、クレヨンしんちゃ
ん、アンパンマン』など楽しい映
画鑑賞会に御招待していただきま
した。市内の特殊学級に通う児童、
生徒、保護者、教師三百六十余名
が夏休みの一日を楽しく過ごすこ
とができました。また鑑賞会より
までの事前指導により子供達の社
会性を向上させる良い機会でした。
筒井興業さんの御好意と御理解に
改めて感謝いたします。

映画鑑賞会終了後、それぞれの
学校で心に残ったシーンや主人公
の似顔絵、あるいは映画を見てワ
クワクしたことを手紙や絵にか
き、筒井興業さんに子供達の気
持ちをお礼をこめてお渡しするこ
とができました。

中山中 黒柳 和幸



美川中 1年

就職をめざして

愛知障害者職業センター
豊橋支所

柿原 靖司

ご父兄の皆さん、我が子の能力が低いから就職が難しいと考えて、はじめから悲観的になっていらっしゃいませんか。センターから一言提言いたします。

就職の可能性は、知能指数で決められるものでなく、本人の就労意欲や態度、更には体力・協調性などによって決まるものです。自信を持つことの出来ない子供さんに対し、父兄の皆さんこそ自信をもって暖かい心で根気よく指導をして下さるようお願いいたします。

一、日常生活での心がけ
生きて行く上で、働くことの大切さと、毎日が規則正しく展開していくことが重要な条件であることを理解させて下さい。

・毎朝毎晩、決められた時間に起きたり寝るようにしよう。
・自分から挨拶や返事がはっきり言えるようにしよう。

二、介助の過ごし方

体は静かな活動だけで過ごさず、身体を使う活動を加え、静動取り入れて過ごすように。また、性格に合った趣味を持たせるなど計画して下さい。

・何事も親に甘えず、なんでも自分でやるようにしよう。
・体力づくりに心がけ、いろいろな運動をしよう。そして、毎日続けるよう頑張ろう。

三、経済的な自覚
生活を営むためにお金が必要であることを認識させ、労働・賃金・生活の循環を理解させて下さい。
・無駄使いをしていないか考えてみよう。
・買い物や、電車バスなど乗り物を一人で利用出来るようにしよう。

四、家族での話し合い
本人の行動・表情など、外見の相対のみで判断することは危険です。肉面的な悩みを把握するには常に話し合いをする習慣を家庭の中にもって、本人をしっかり受け止め、支えるよう心がけて下さい。

い、なんでも出来たら必ずほめる、ときには愛情のこもった厳しさで指導するよう心がけて下さい。

・学校であった出来事など、毎日家で話すようにしよう。

「ほく、六組だよね！先生」と丁男が聞いた。「そうだ、丁君は六組だよ」と私は即答したが、まだ納得のいかない顔で、「だってみんなが、トクンツって言うもんなんだ」と私の顔を恨めしそうに見つめていた。どうも六組に人殺したことが、気にかかっているらしい。

6組だよね！先生

功 杉山 小 緑丘

これは、私が特殊学級を初めて担任した二十年前の教育記録です。当時は、まだ促進学級とされるもので、父兄の間でも「特殊」という言葉に敏感でした。だから、私はできるだけ使わないうようにしていました。また、私自身も子どもたちから「特殊先生」と呼ばれることが、何となくいやな気持ちでした。今考えると、教師として誠にすかしいことですが、

最近では、若い積極的な教師が増えてきて、自ら担任を希望されると聞いて、大変嬉しく思います。今年の四月、市の現職教育委員会で決める世帯は、「ぜひ私にやらせて下さい」と、立候補された先生が自ら申し出ました。今後、特殊教育に携わる人は、「強健なからだ」と、強い忍耐が備わっていないと、担任にはなれないかと、自負して話しいものです。

学級スナップ 開設二年目を迎えて 六ツ美北中学校

学校は、六ツ美中学の大規模校解消のため、平成4年度に分離移転した。特殊学級も、人数の関係で開設できるか心配されたが、諸関係機関のご努力により、市内十四校目の特殊学級「精薄学級」として無事開設した。

現在二年一名、三年二名の男子生徒が在籍しているが、好評なのはパソコン室の利用である。冷暖房完備、椅子は調整付き。設備は最新式。特殊学級用にソフトを買って置き、作文・作曲・計算等と実施している。新設校の辛さはあるが、設備面では有りかたの限り。



農園での様子

私の教室日記

—国語の授業を受け持って—

初めの一步に戻れるところ

竜南中 神谷あけみ

「ここには教育の原点がある」
 八年前、初めて九組の子らと学習する機会を得た時に感じたことだった。ましてや、読む・書く・話す能力となれば、日常生活において必要不可欠である。国語科が持つ使命の大きさを改めて痛感させられたのも、この時だった。

以来、何度も九組の授業を持たせていただいた。週に何時間かの国語の授業は、彼らにとってみれば真剣勝負のはずである。ところが、私の方には「安息的時間」という心持ちがどうしても生じてしまう。なぜなら、彼らは常に自分たちのペースで私に接し、私を安らかな空間に引き込んでくれるからである。

だが現実には、彼らにとってかなりシビアであることも確か。安らぎの中に浸ってはばかりいられない。悪戦苦闘の末に覚えたはずの長音をM君たちが忘れてしまうのに、時間はさほどかからない。きょうは黒板の前にへばりついて思い出すことになるか、ボールやらテープやらの実物を持ってきて一から再びやり直せばいいのか、いずれにしても粘り強く繰り返し、変容と定着を待たねばならない。

例えば、始業の礼をした直後に開口一番、A君が「かゆい？」と聞いたりする。何のことやら、としばらく首をひねっているうちに、ああ、私の顎のちよっと下あたりが昨日からぼちちよとってきた、この小さな吹き出物のことを言っているのだから。

研修報告

海外視察

そして・・・

葵中 武田正道

文部省教員海外派遣団として、十月二十二日から、オーストラリア・ニュージージーランドの教育事情を視察する機会に恵まれた。どちらの国も選挙結果によって教育制度が大きく変わるので、制度についてふれることはやめる。ここでは、特殊教育にかかわる指導について述べたい。

「馬に乗る」プログラムがニュージージーランドの参観した学校にはあった。特別な体験をして、表現意欲を高めていこうという内容のものではなく、「馬に乗る」という活動を定期的に行い、脳の発達を促そうというプログラムである。このプログラムに参加しているのは、一校の特殊学級だけではなく、近隣の学校からもその場所へ集まって授業は行われていた。

もう一つ興味深く見学したの

は、ミッション系の進学校へ見学に行った時のことである。特殊学級のあるなしを考えもせず参観をしていた。しかし、説明を聞く中で、入学に関しては、特殊学級の生徒も受け入れていて共に学んでいるということだった。特殊学級の考え方も、日本と違っていろいろである。日本と比べて、大学の単位制の授業を想像してもらえればわかりやすい。だから、進級の遅れている生徒にも対応できていた。

教育制度の成り立ち・教育感の違いで一概にその教育制度を日本に当てはめることは難しい。しかし、視察で得た日本でも生かせる指導法については、明日からの実践の中で生かせるように思う。

こころみ学園訪問

城北中 安藤仁史

「ぶどう畑の笑顔」(川田昇著、発行・大揚社、発売・星雲社)という本をごそんじでしうか。栃木県足利市で行われているグループホームの実践をまとめた本です。私たちは、今、目の前にいる障害児の将来を、つめて日々実践を続けていますが、その一つのヒントを探るべく、この本の舞台であるこころみ学園を訪問しました。

こころみ学園は川田園長を中心に昭和44年から始められた社会福祉法人です。一山すべてがぶどう畑、雑草がその急斜面に25万本、そしてワインの生産が15万本というのですから半端ではないスケールです。ここでは職員と園生が共に汗を流して働き、賣素ながらも自立した生活を送っているのです。

ワインをいただきながら話を聞いていた私たちのすぐ隣では、明の人々が集まってパーティが始まりました。地域との、自然で密接な関係を実感しました。



グループに分かれて算数の授業をする

苦しみの中の楽しみ(一)

岩津中学校 渡辺勝英

はじめて特殊教育の場に関わったのは、昭和四十四年、新卒二年目の羽根小学校のことであった。大学の特殊教育を専攻してきた私に、早々と、思いもかけぬ好機の到来であった。とにかく、むやみに續しかなかった。

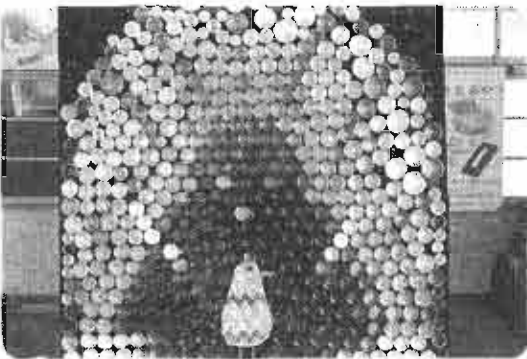
だが、手がけたその日に、それは「そんなに生易しいものではない」ことをしたたかに思い知らされた。それは、いろいろなことがまだ箱に詰らばかりで、難しい課題が山と積まれたものだった。

はじめの頃は、実践する者として「いかにすべきか」、突き当たっては困り、考へては困り、時には茫然自失、遅々とした歩みに、日々イライラも募り、焦りに焦ったものであった。また、無遠慮に「あッン、特殊の先生か！」鼻であしらすように言われると、「この道筋に」と固めた決心も、ついでに「ついたものであった。一校一級の場合よくあることであった。」

特殊学級の担任は、どうも「孤立化」しやすい。どうしても「孤独」しやす。どうしても、その「経験」に何を持ってきて、容易なことではなかった。

当時は、特殊学級も少なく、研究も進んでおらず、直接指導を受けることもできず、毎日が苦しまぎれの試行のくり返りであった。こんな中での実践の一つが、單元

「大きなクジャクを作る」であった。子どもたちと一緒に学校の周りを歩いて空カンを拾い集めた。三百個ほどもあった。それをきれいに水で洗い、何日もかけて色付けをした。そして、それらを大きなベニヤの額に貼りつけてクジャクを作るというものであった。一つは極めて簡単な単純な作業であったが、子どもたちは、目を輝かせ、いかに楽しそうに学習に取り組みをみせた。ほほえましい学習の場であった。



自主研修

楽しくもおだやかな夕べ

美合小 宮地久美子

七月から、月に一回夕方アメ輪会が行われています。参加者は、大学の松下先生をはじめ、十名程度といったところ。個別学習計画から始まり、生活単元学習、リソースルームと続いています。初めて触れる言葉や事柄もありますが、いつか戻ってくるのは、自分のクラス・目の前にいる子ども達なのです。特に、生活単元学習の回は、

指導案綴りから単元をピックアップして、日々かかえている問題について話がはずみました。買い物学習の時に、実際のお金を使うかどうかといったことも出されました。

また、前回から始まったリソースルームの本の輪読会では、三島小高橋先生から、通級学級をどのように運営しているか、特殊学級の担任との連係についてもうかがうこともできました。

時には、折り紙の講習会もあり、おだやかに楽しいひとときを過ごしているわけです。

かんばっています(一)

豊田高等養護学校

浅岡 忠良君

先生お元気ですか。

ぼくは、今豊田高等養護学校で元気にやっています。授業は、職業科目が中心で、ぼくは農業が好きです。でもこの学校は、中学校にない勉強もあるので楽しいです。

この前、校内実習がありました。ぼくは紙工班で、花びんを入れる箱を作りました。少し不良品が出たけど、全部で七十七箱も作りま

した。少しいへんだったけど、楽しかったです。また機会があったら学校に行きます。それではお体に気をつけてください。さようなら。



豊田高等養護学校(中央)